

仙台市の取り組み(1)

- 震災や平成27年3月の国連防災世界会議「仙台防災枠組」採択による防災分野の機運の高まりが、適応策を位置付ける背景に。→環境審議会等での審議、全庁照会等。

仙台市地球温暖化対策推進計画への適応位置付けの背景や経緯

「仙台防災枠組」採択
「防災環境都市」
→地球温暖化対策計画への
「適応策」位置づけが必須に

出典：仙台市提供資料

時期	経緯	
平成23年3月	震災により計画改定見合わせ	◇「震災復興計画」 ・防災集団移転や宅地再建 ・防災対応型太陽光発電システム整備 ・「防災人」づくり ほか
・ ・	国動向等より、H27再開予定	
平成27年3月14日 -18日	国連防災世界会議 「仙台防災枠組」採択	・災害リスク及び損失を大幅に削減する(目指す成果) ・災害リスク削減を主流化し統合する(優先行動) ほか
3月中旬	気候変動の影響に関するアンケート(環境省) → 庁内照会実施	・多くの部署が気候変動影響懸念

影響に関する庁内の把握情報の集約整理

回答様式2 将来予測される影響

コード 番号	分野	大項目	小項目	文献情報			仙台市内において今後予想される影響等					
				概要	重大性	緊急性	確信度	懸念・情報等有無	懸念・情報等内容	関連施策・事業等	記入ご担当者	
												国の将来予測される影響
1111	農業・林業・水産業分野[1]	農業・水産業分野	水稲	全国のコメの収量は今世紀半ばまで、AIBシナリオもしくは現在より3℃までの気温上昇では収量が増加	○	○	○	①品質低下 ②増収(北海道・東北) ③冷害リスクの増大(北日本、宮城) ④冷害リスクの減少(東北)				

現在の状況や将来予測される影響について、担当部署に照会。
→照会趣旨や適応についての説明・資料提供、国の科学的根拠(論文等)の併記により、積極的な回答を依頼

出典：仙台市提供資料

仙台市の取り組み(2)

- 「地球温暖化対策推進計画」に適応を位置付け（平成28年3月）。
- 引き続き気候変動影響の把握や啓発（熱中症予防セミナー等）を実施中。

分野	大項目	小項目	意見具申（国報告書）			仙台市(宮城県)	
			現在及び 将来予測される影響	重大性	緊急性	確信度	現在及び将来 予測される影響
水産業 農業・林業・	農業	水稲	・品質低下（白未熟粒、一等米比率低下など）	●	●	●	・品質低下
		病虫害・雑草	・ミナミアオカメムシの分布域拡大	●	●	●	・カメムシ
生態系 自然	分布・個体群の変動 (在来生態系)		・目				

国の評価を踏まえた
影響評価結果の提示

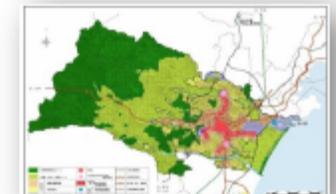
抽出された
5分野9項目に
優先的に取り組む

「杜の都」の都市個性を
生かした適応策の推進

重点5 杜を守り、杜に護られる仙台

「杜の都」に象徴されるみどりや自然環境を保全することにより、市街地の熱環境改善や自然生態系の維持など、自然環境からの恩恵を受けながら気候変動影響リスクの低減をはかります。

- 都市公園や緑のカーテンなど市街地のみどりの維持向上により、みどりの力を利用した夏場の温度上昇抑制と省エネルギー化を推進



出典：仙台市地球温暖化
対策推進計画2016-2020
(平成28年3月、仙台市)